

講習会「基礎 地盤系の動的応答と耐震設計法」報告

平成 19 年 10 月 26 日（金）9 時 45 分～17 時 00 分、日本大学工学部駿河台校舎の会議室にて標記の講習会が開催されました。参加者は、定員を超える 96 名で会場が満席となる盛況ぶりでした。

講習会は、平成 16 年 12 月の発足以来、基礎 地盤系の動的応答と耐震設計法に関する研究委員会がとりまとめた「基礎と地盤の動的相互作用を考慮した耐震設計ガイドライン（案）」の説明を行っております。また、本講習会を通して、耐震設計に関する問題点について議論を深めるために、最後にパネルディスカッション「今後の耐震設計について」を行い、活発な議論を行っております。ガイドラインの説明として、午前の部として、西村昭彦委員長（ジェイアール総研エンジニアリング）「委員会活動報告および耐震設計概説」から始まり、吉田望先生（東北学院大学）「地盤の評価および挙動の算定（液状化を含む）」のご講演を頂きました。昼食を挟み、午後の部は、塩尻弘雄先生（日本大学）「構造物の挙動の算定」、木村亮先生（京都大学）「構造物の耐震性能の評価」、岸下崇裕委員（フジタ）「基礎の耐震性能を高める方法」のご講演を頂きました。

本講習会は、土木・地盤・建築の分野で地盤と基礎の動的相互作用や地盤の動的挙動に関する研究等でご活躍の講師の方々から、今後の耐震設計に役立つガイドライン案の考え方と課題についてご講演をいただきました。また、パネルディスカッションでは、パネリストと参加者の間で、動的相互作用を耐震設計に取り入れるための課題や新しい構造形式に関する意見等で熱心かつ有益な討議を行うことができました。最後に、貴重な講演を頂きました講師の方々に深く御礼申し上げます。



写真 会場の風景

（文責：基礎-地盤系の動的応答と耐震設計法に関する研究委員会
小林恒一 ジャパンパイル株式会社）